



認知症について学びを深めました

認知症を学び地域で支えよう 認知症サポーターを養成

町職員を対象とした認知症サポーター養成講座が3月11日に開かれました。

公立藤田総合病院認知症キャラバンメイトを講師に認知症についての基礎知識や正しいコミュニケーションの取り方について学びました。参加した職員は認知症の方に接する場合の対応について理解を深めました。



おやつパンを受取る子どもたち

子どもたちを笑顔に 国見子どもクラブにおやつをお届け

新型コロナウイルス感染症による休校で、日中を国見子どもクラブで過ごす子どもたちを元気づけようと町の中華料理店の桜華楼が3月9日に、国見ライオンズクラブと国見まちづくり株式会社が3月16日から19日にかけて、五目焼きそばやパン、お菓子の差し入れを行いました。



表彰状を受取る八巻さん（右）

地域の保健衛生の向上に尽力 八巻紘子さんが公衆衛生事業功労者表彰を受賞

国見町健康推進員協議会の八巻紘子さんは3月25日、令和元年度公衆衛生事業功労者表彰（日本公衆衛生協会会長）の伝達を太田久雄町長から受けました。

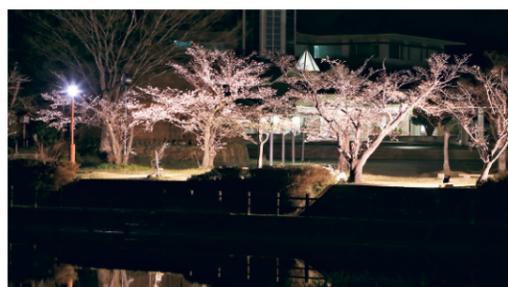
今回の表彰は、27年にわたって母子保健推進員と健康推進員を務めた功績が認められての受賞です。八巻さんは、「みなさんの笑顔に支えられての受賞です」と喜びを語りました。



太田町長と岡崎教育長にマスクを手渡す石塚工場長（右）

子どもたちの感染予防に役立てて 子ども用布製マスクを贈呈

町内企業の株式会社東京エンゼル本社福島工場（石塚勝美工場長）は4月3日、国見小学校の1年生（47名）に同工場で製造した子ども用布製マスク150枚を贈呈しました。贈呈式では、石塚工場長から太田久雄町長と岡崎忠昭教育長へ個包装されたマスクを手渡しました。なお、その他の幼稚園、小学校、中学校の子どもたちには町から布製マスクが一人あたり3枚配布されます。



ライトアップされた観月台公園の夜桜

夜空を彩るソメイヨシノ 観月台公園桜ライトアップ

観月台公園の桜のライトアップが4月3日から始まり、観月台公園のため池の周囲にある約100本のソメイヨシノが夜空に幻想的に浮かび上がりました。

桜のライトアップは、町を代表する桜の名所の観月台公園の夜桜を楽しんでもらおうと町商工会（渡辺勝弘会長）が主催したもので、訪れた人は夜桜を楽しんでいました。



みんなで楽しく遊べたね

1年間楽しく活動 イキイキ子育てクラブ閉所式

イキイキ子育てクラブの閉所式が2月19日、藤田保育所内の地域子育て支援センターで行われました。

閉所式では、鑑水伸江センター長から子どもたち一人ひとりに「たのしかったで賞」が手渡されました。また、1年間一緒に活動してきたボランティアの方々には、子どもたちから感謝を込めた手作りのプレゼントが贈られました。



位記を受け取る東海林一樹さん（中央）

生前の功績をたたえて 故東海林正子さんに叙位伝達

元国見町選挙管理委員長の故東海林正子さんに叙位が発令され、2月26日に太田久雄町長立会いのもとで行われた伝達式では、熊田孝福島県北地方振興局長から遺族の東海林一樹町議会議員に位記（従六位）が手渡されました。東海林さんは昭和50年に町選挙管理委員となり、昭和51年から19年にわたって同委員長を務めました。



摘みたて直送の完熟とちおとめを販売

『完熟とちおとめ』召し上がれ 栃木県茂木町が特産品PR

栃木県茂木町が3月1日、道の駅国見あつかしの郷で特産のとちおとめや「道の駅もてぎ」で人気の米粉バームクーヘン、ゆず塩ラーメンなどの6次化商品を販売しました。

国見町と茂木町は平成29年に「災害時相互応援協定」を締結したほか、互いの特産品販売などでも交流連携を進めています。



新設した消防設備を確認

いざという時に備えて 初午行事で春の火災予防

国見町消防団（村上信夫団長）による初午行事が3月8日、町内各地で行われました。

初午行事は、乾燥する日が続く春を前に、火の用心を呼びかけたり、火災発生時に備えて消防水利や新設した消防設備を確認するものです。また、新築された家屋に放水する「火伏せ」も行われました。



ももさぼについても説明

親子で「ホッ」とするひととき 『ママ♡カフェ by ももさぼ』

子育て世代包括支援センター（ももさぼ）事業の『ママ♡カフェ』が3月11日、観月台文化センターで開かれました。

『ママ♡カフェ』では、保健師が手洗いやアルコール消毒など家庭でできる感染症対策を説明。その後の茶話会では、ママたちが子育てについての情報交換や悩みなどを話し合いました。